

U S B 大容量記憶装置デバイス抑制システム

# **USBProtect 1.0**

## **ユーザースガイド**



## 目次

はじめに.....	3
動作環境.....	4
ソフトウェア使用許諾契約.....	5
アンインストール方法.....	7
画面説明.....	8
使用方法.....	9
起動 .....	9
通常起動.....	9
機能制限モードでの起動 .....	9
未サポートOSでの起動 .....	10
操作権限不足.....	10
ロック設定.....	11
ロック解除設定.....	12
より安全に使用する為に.....	13

## はじめに

平成 17 年 4 月からの個人情報保護法の施行にあたり、企業内のコンプライアンス経営は、より重要な課題となっています。調査機関等によると、特に近年の情報漏えいの大部分（80%以上）が内部からの漏えいと言われており、お客様の大事な個人情報や社内の機密情報など様々なデータの漏えいは各企業にとって大きなリスクとなっております。

近年、U S B メモリーや ipod 等、小型で大容量の機器が簡単に手に入るようになり、一部 O S を除くと特別なソフト（ドライバ）がなくても簡単に P C に接続する事が可能です。接続を行った形跡を残さず、簡単に接続できるという事は、それだけ危険であるともいえます。

また、これらの機器は、個人情報や機密の流出ばかりでなく、悪意のあるアプリケーション（バックドアソフト）などの持込も簡単に行えてしまうのです。

「USBProtect」は、これら「U S B 大容量記憶装置デバイス 1」の使用を制限する事により、情報の持ち出しなどを抑制するアプリケーションです。

U S B 大容量記憶装置デバイスのみをコントロールの対象する為、他の U S B 製品（マウス、キーボード、プリンタ、W e b カメラ、H U B 等）は通常通り動作します。

### 1 U S B 大容量記憶装置 . . .

U S B メモリー

U S B 接続の CD-RW/DVD-RW、M O、H D D。

U S B にて mass Storage device となる物

USBProtect は、Windows 標準の U S B 記憶装置デバイスの動作を抑制するものです。

Windows 標準のドライバを使用せず、U S B 機器に付属するデバイスドライバを使用した場合、USBProtect での動作抑制対象となりません。

## 動作環境

Microsoft® Windows 2000 / XP （日本語版）

Administrator 権限を持つユーザーである必要があります。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## ソフトウェア使用許諾契約

本プログラムは、お客様が下記の使用条件に同意された場合に使用許諾します。

下記の使用条件を十分にお読みください。

未登録のプログラム（未レジスト状態）について

未登録のプログラムは 10 日間の試用期間、無料で使用することができます。

この期間以上、継続して使用する場合は、ライセンス登録（解除キーの取得）をする必要があります。試用期間が過ぎてもライセンス登録をしない場合は、使用を中断し、プログラムを削除してください。

### 1．使用許諾

有限会社バルムソフト（以下【当社】といいます）はお客様（以下【使用者】といいます）に対し、本使用許諾契約にともなうアプリケーション、システムその他のソフトウェア（以下【ソフトウェア】といいます）を使用することを許諾します。使用者はダウンロードにより【ソフトウェア】を所有することになりますが、【ソフトウェア】の権利自体は当社が保有しています。本使用許諾によって、使用者は【ソフトウェア】を 1 台のパーソナルコンピュータで使用することができます。更に、バックアップ用として、【ソフトウェア】を機械読み取り可能な形式で 1 部複製することができます。使用者は、ネットワーク上のパーソナルコンピュータの 1 台 1 台が【ソフトウェア】の使用許諾を受けているのであれば、【ソフトウェア】をネットワーク上で使用することができます。使用者は、【ソフトウェア】に関する使用許諾契約に基づくすべての権利、バックアップコピー、本使用許諾契約の写しを第三者に譲渡することはできませんが、当該第三者が本使用許諾契約の条項を全部読んで上で同意することを条件とし、譲渡によって使用者と当社の本使用許諾契約は解除されます。

### 2．制限

【ソフトウェア】は著作権で保護される著作物、トレードシークレットあるいは他の財産上の権利の対象物ですから、これらを保護するために、使用者は【ソフトウェア】を逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアその他の方法により人間が読み取り可能な形にしてはなりません。使用者は、【ソフトウェア】を変更し、ネットワーク上にて使用し（第 1 条にて認められているネットワークにおける使用は除く）、レンタル、賃貸、貸付、頒布、あるいは、【ソフトウェア】の全体又は一部に基づき二次的著作物を作成してはなりません。

### 3．契約の終了

本使用許諾契約は終了するまで有効です。使用者は、本使用許諾契約をいつでも、【ソフトウェア】及びそれらの複製物すべてを破棄することにより終了することができます。使用者が本許諾契約条項のいずれ

かに違反した場合には、当社から通告することなく、直ちに本使用許諾契約は解除されます。本使用許諾契約の終了時には、【ソフトウェア】及びそれらの複製物すべてを破棄しなければなりません。

#### 4．【ソフトウェア】に関する保証の放棄

使用者は自己の責任において【ソフトウェア】を使用することを認識し、同意するものとします。【ソフトウェア】は、現状のまま提供され如何なる種類の保証也没有ありません。

当社は、明示的あるいは黙示的なすべての保証を放棄します。ここにいう保証には、商品化・商業可能性・使用目的についての適切性に関する保証を含みこれに限るものではありません。当社は、【ソフトウェア】に含まれた機能が使用者の要求を満足させること、あるいは【ソフトウェア】の操作が停止せずエラーがないこと、【ソフトウェア】の欠陥が修正されることについては保証しません。

更に、当社は、【ソフトウェア】の使用及び使用結果の正確性、適確性、信頼性を保証したり表明したりすることはありません。当社から、口頭あるいは文書で情報やアドバイスがあったとしても、それは、新たな保証を負ったり本保証の範囲を広げるものではありません。もし、【ソフトウェア】に欠陥があった場合は、当社には全く関係のないことであり、使用者自身がその必要なサービスや補修にかかる費用を負担するものとします。

#### 6．責任の制限

当社は、過失も含めた如何なる場合においても、【ソフトウェア】を使用又は使用不能から生じた偶発的、特別、間接損害の責任を負わないものとします。これは当社及び当社の代理人がそのような可能性を通知されていた場合にも同様です。【ソフトウェア】が有償で使用許諾されたときは、如何なる場合においても、当社に責任がある場合の上限の賠償額は、使用者の損害、損失、訴訟費用等いっさいの費用を含めて、使用者が支払った【ソフトウェア】の代金総額を超えないものとします。

#### 7．支配法及び可文条項

本使用許諾契約は、日本法によって統括され、解釈されるものです。本使用許諾契約中の条項が裁判所によって無効と判断された場合でも、残りの条項は効力を有します。

#### 8．契約の完全性

本使用許諾契約は、【ソフトウェア】の使用について、使用者と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する、従前の契約（口頭、文書の両方を含みます）に優先して適用されるものです。本使用許諾契約に関する改訂、変更は、当社の文書による承諾がない限り一切無効とします。

以上の条項に 1 つでも違反された場合はお客様に付与されたすべての権利は自動的に消滅するものとします。

## インストール方法

インストーラーレス版の説明をします。

ZIP 版は、圧縮の展開をしたフォルダー内は、下図の通りです。



“ USBProtect . exe ” を任意の場所にコピーし、実行して下さい。

特に、インストールは必要としません。

## アンインストール方法

インストールで保存した、“ USBProtect . exe ” および、ドキュメント関係を削除して下さい。それだけです。

## 画面説明

### 状態

USB 大容量記憶装置の抑制の状態を示します。【ロック中】の場合には、機器の使用を抑制します。

### ロック設定ボタン

状態が【解除中】の場合には、ロックできます。パスワードの入力が必須となります。



### パスワード

設定 / 解除の時にパスワードを入力します。入力は必須で、1～64文字まで指定できます。

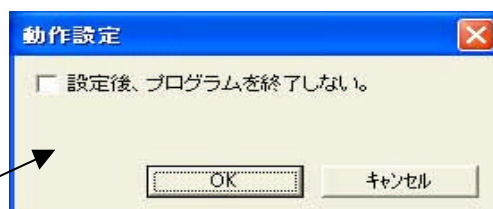
### ロック解除ボタン

状態が【ロック中】の場合には、解除できます。

### 終了ボタン

アプリケーションを終了します。

## 設定画面



## バージョン情報





## 使用方法

UI (ユーザーインターフェース) モードでの使い方について説明します。

### 起動

#### 通常起動

通常、USBProtect を起動すると、右の画面となります。状態については、現在の設定状態が表示されます。

特に設定を変えない場合には、終了を押下して下さい。

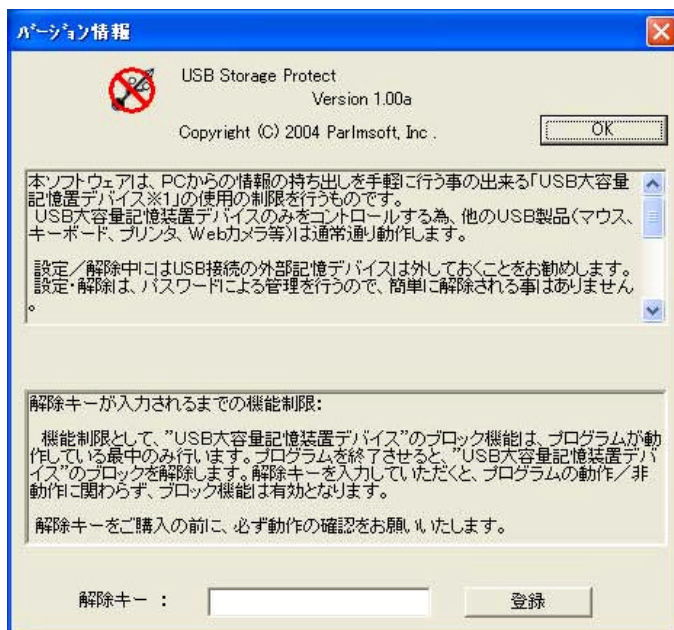


#### 機能制限モードでの起動

起動を行った時に右の画面が表示された場合、機能制限モードで動作します。

機能制限モードでは、プログラムが実行されている最中のみ、USB大容量記憶装置の抑制をします。プログラムを終了させると、設定した抑制は解除されます。

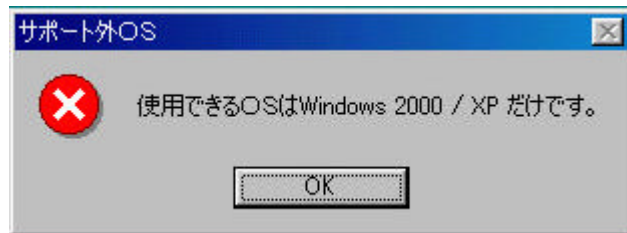
解除キーを入力する事で、プログラムを終了しても、USB大容量記憶装置への抑制は継続される状態になります。



解除キーをご購入の前に必ず、機能制限モードにて動作の確認を行って下さい。USBProtect は、Windows 標準のUSB記憶装置デバイスの動作を抑制するものです。Windows 標準のドライバを使用せず、USB機器に付属するデバイスドライバを使用した場合、USBProtect での動作抑制対象となりませんので、ご注意下さい。

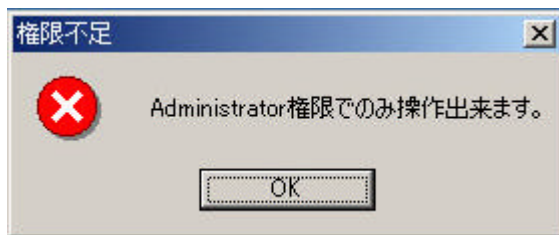
### 未サポートOSでの起動

右のメッセージが表示された場合、実行を行おうとしているOSでは実行できないので、プログラムを終了します。



### 操作権限不足

右のメッセージが表示された場合、設定/解除を行うための権限が不足しています。  
PCの管理者にご相談ください。  
操作は、そのPCのアドミニストレータ権限が必要となります。



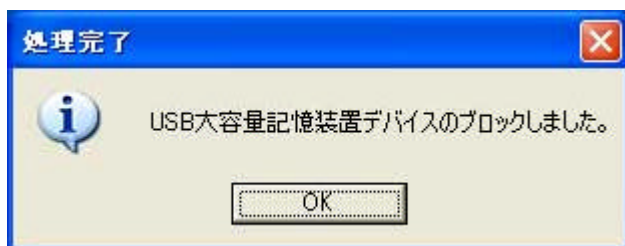
## ロック設定

USBProtect を起動すると、右の画面が表示されます。

パスワードを入力（1～64 文字以内）し、設定ボタンを押下します。状態が解除中の場合のみ、ロック設定を行う事が出来ます。

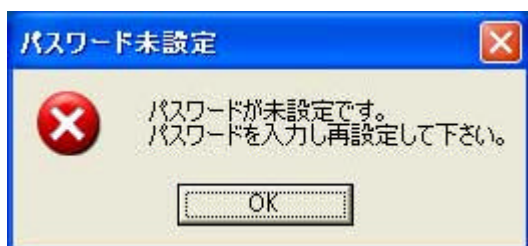


ロック設定が完了すると、下の処理完了画面が表示されます。OKボタンを押すと、プログラムは終了します。



パスワードは解除する際に必要となります。必ずお忘れにならないキーワードを設定して下さい。**パスワードを忘れずと解除が出来なくなります。**

処理完了の画面にならなかった場合



対処方法

パスワードを入力して、設定ボタンを押してください。

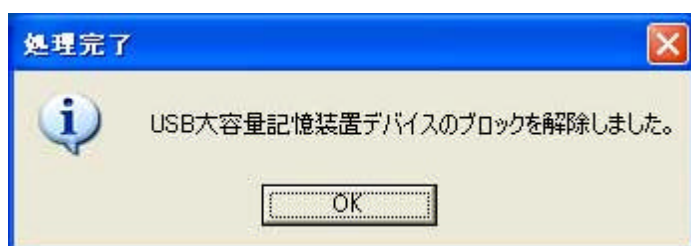
## ロック解除設定

USB大容量記憶装置の使用抑制を解除します。  
画面の状態が【ロック中】の場合にのみ、解除を行う事が出来ます。

解除を行う場合には、設定を行ったユーザーでログインしている必要があります。ユーザーが違うと解除は出来ません。 設定を行った時のパスワードを入力し、解除ボタンを押下して下さい。



パスワードが一致した場合、使用抑制を解除し、下のメッセージを表示されます。OKボタンを押すことで、プログラムは終了します。



処理完了の画面にならなかった場合



対処方法

パスワードが間違っています。  
パスワードの確認を行い、解除をもう一度行って下さい。

## より安全に使用する為に

ここでは、USB 大容量記憶装置デバイスの使用制限をより、強固に行うための簡単な秘訣を書きます。“ UsbProtect ” をより、有効に使用する事にも繋がりますので、参考にしてみてください。

### 1 . USBProtect を使用するユーザー

“ UsbProtect ” を実行する場合には、Administrator 権限が必要となります。

1 人に 1 台の P C が与えられている環境では、それぞれのユーザーにローカルのアドミニストレータ権限を与えている場合もありますので、出来れば、P C 管理者だけが使用するユーザー ( Administrator 権限 )を作成し、そのユーザーで、インストールする事をお勧めします。

### 2 . ユーザー権限

一般のユーザーには出来るだけ、Administrator 権限は与えないようにするのが望ましいと思います。これは、P C 管理者が把握していないところでの、ドライバーのインストールなどを防ぐ為です。

**USBProtect 1.0 ユーザーズガイド**

---

2004 年 12 月 17 日 初版

著作 有限会社 パルムソフト

<http://www.parlmsoft.com>

©2004 Parlmsoft, Inc.